

京都教区時報

京都教区広報委員会
編集長 村上透磨
京都市中京区
河原町通三条上る
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345
kouhou@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3頁～8頁 2015年 侍者合宿 感想文

10頁 社会と共に歩む教会「三重刑務所での教誨奉仕」柳本 昭師

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶺崎(たけざき)裕子さままでお申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601

自分の無力さに気づく(2)

2015年 司教年頭書簡 神の「貧しさ」を生きるⅡ

年頭書簡の(2)と(3)により司教が語ろうとすることは「救い」即ち神の国、又は永遠の命を得るため、神の前に自分をどう置かをいうことに外ならない。今回は、そのことについて考えてみたいと思います。

それは、「自分の無力さに気づく」というテーマです。永遠の救いに障害となるものは、地上の富や権威に依存(執着)する精神「時の体制に満足」する生き方にあります。それは富や権力をマンモン(偶像)とすることであり(5)それを克服する方法は、自分に見える物質的豊かさを、愛の心で分かち合うことだと答えます。この(2)では、アッシジ



の聖フランシスコの完全な財産と自分放棄を模範として語ります。しかし、それは自分の存在の全てが神に依存し、福音を忠実に従うためであると言うのです。これは自ら貧しくなり、貧しい人への愛に生かされたキリストに、倣うことであるとも言えます。

さて、私たちは、父なる神に全く依存することによって、救いを得ることになるのです。それは神の前で人間は無力であり、貧しく無にすぎない(霊的貧困)に気づくためです。でも、よく注意しておきたいのは、貧しくなること、無力さに気づくこと、謙ることが目的ではなく、真に貧しくなった時に「神が全てとなられ、神の愛と霊が命となって、私たちをみたます」ということなのです。

ちなみに謙虚さとは、自分は何も出来ないものと自分を卑下し蔑むことではなく、神の前で「ありのままであること」「神をいつもまなざし、神を唯一の主としてあがめ生きること」にあることを、忘れないでおきたいと思っています。

真の謙虚さとは、主の栄光から目をそらさない、神を見る目の高さでもあると思えます。

なお、ここで引用される、

6
2015

マタイ19・23〜24（ルカ18・24〜27、マルコ10・23〜27）

について、一言解説してみたいと思います。それは「金持ちが神の国に入るより、らくだが針の穴に入る方が易しい」という言葉です。この「ことわざ」を用いた教えに、金持ちの救いの難しさを感じた弟子たちに、主は「あなた方には理解しがたいが、神は何でもお出来る、人間の常識からは不可能に見えても、神の全能と愛によれば全ては可能だと」その全能を愛に訴えます。

それから、「針の穴」という言葉は「狭い門から入れ」（ルカ13・22）を連想させますが、これは、愛の道、奉獻の道、十字架の道……。

そして、この「らくだの針」の話の文脈からすると、この金持ちは、律法の教えを完全に守っている義人であり、し

かも主は彼を慈しみ、まなざしながら言われた（マルコ10・21）という言葉です。

私たちは教えをよく守るよい信者かも知れません。でも、そういう信者であるからこそ、主は愛をもって呼びかけたのであって、このエピソードは「掟を守る忠実さ」と「貧しくなること」を天秤に掛けることではなく、神の愛を知った何が起こるか、「神が全てとなる」と言いたいのです。掟を忠実に守るか、財産を捨てて神の前に貧しくなるかが問題ではなく、神の愛の招き、神の偉大さ、栄光を知れば、掟を守るか守らないか、貧しくなるかならないかが、問題ではなくなる。無力であるかないかさえも……気にはかけない。

（村上透磨）

ネパール大地震報告

ノートルダム教育修道女会
鎌田 論珠

4月25日正午前、ネパールでマグニチュード7・8の地震が発生しました。ノートルダム教育修道女会は1983年以来、多くの方々のご支援により、この国で教育に携わって参りました。

幼稚園から12年生の850名が学ぶノートルダム校は、震源のゴルカからそう遠くない高地バンディールにあります。4名の修道会会員を含め村に死傷者がなく、学校の建物も大きな被害を免れたことは恵みでした。とはいえ、民家104棟が全壊、376棟が半壊、生活手段である畑や家畜を奪われる被害は、貧しい村人の暮らしを根こそぎにしています。子ども

の学校どころでない家族も少なくありません。そうした中でシスターたちは、震災から10日後に学校を再



開、緊急な必要品を配る一方「教育は未来を創る」という信念で、生徒が学校をやめないで済むよう『震災特別奨学金』の提供も始めています。交通網・通信網の立ち遅れたこの国では、取り敢えず地域ごとに優先課題に取り組む以外にありません。皆様のお祈りとサポートに感謝いたします。引き続きよろしくお願い申し上げます。

カリタスジャパン募金受付口座
郵便振替番号
00170015195979
加入者名カリタスジャパン
通信欄に「ネパール地震」と明記

青年センター 事務員挨拶

初めまして…ではありませんが事務員としてご挨拶するのは初めてですね。

昨年の7月から青年センターの事務員をしています、松浦歌織です。中途半端な時期からのスタートでご挨拶が遅くなり申し訳ありませんでした。

この1年間、事務員として青年センターに関わることで、今までと違った視点で青年活動を見ることができました。

青年活動をサポートして下さっている方々のおかげで、こうして運営ができているのだと実感しています。

今年度もよろしくお願いいたします。

(九条教会 松浦 歌織)

こんにちは！ 青年センターの事務員としてかれこれ4年目を迎えようとしています、橋本です。いつも信者の皆様に暖かいご支援をいただきながら、自由に活動させて頂けること、心より嬉しく思っております。なかなか不精で腰の重い私ですが、周りの青年達に助けられながらなんとか今年も活動して行きたいと思っております！

全然仕事のできない私ですが、この1年も色んな方々との交流を通して、沢山学んでいきたいと考えておりますので、どうぞ本年度も、皆様のお祈りをよろしくお願いいたします！

(河原町教会 橋本 仁子)

新年度青年センター 運営委員挨拶

<京都南部地区>

4月から2年ぶりに運営委員を務めることになりました。青年活動をしっかり企画していきたいと思っております。よろしくお願いいたします！

(河原町教会 栗山 透)

今年も運営委員を継続させてもらいます。青年活動が活発になるよう企画したいと思っておりますので、センターに顔を出してみてください。

(山科教会 田川 愛美子)

初めて運営委員を務めさせていただきます。微力ながら神様のお望みに叶うよう尽力したいと思います。青年のためにお祈りよろしくお願いいたします。

(河原町教会 奥楚 のぞみ)

<京都北部地区>

今年度も引き続き運営委員をさせていただきます小林真衣です！ 青年センターに

行ってみたい！ と興味を持ってもらえるように情報を発信していきたいと思っております。(西舞鶴教会 小林 真衣)

今年も京都北部で継続させていただきます！ 小林まなつです♪ 京都教区の様々な活動を発信していきたいと思っております！ (西舞鶴教会 小林 まなつ)

<滋賀地区>

祈りと感謝を忘れず引続き尽力します。宜しくお願い致します。

(唐崎教会 木村 哲朗)

<三重地区>

引き続き三重地区の運営委員をさせていただきます。

経験が浅く、至らない点も多々あるかとは思いますが、本年度も教区の青年が楽しく活動できるよう努めていきます。よろしくお願いいたします。

(伊勢教会 濱口 聡子)

社会と共に歩む教会

三重刑務所での教誨奉仕



柳本 昭神父

私はネリグ神父のあとを受けて、三重刑務所の教誨師として奉仕させていただいています。教誨師は受刑者の方々に宗教のお話をするのがおもな仕事です。しかし、そのやり方は各刑務所によって異なるようです。そこで、ここでは三重刑務所での教誨の仕事について書かせていただきます。

三重県で殺人などの重い罪を犯した人は名古屋刑務所に送られるそうです。三重刑務所は覚せい剤、窃盗、詐欺などの罪に問われた人が中心で、刑期も2〜3年です。ですから、死刑囚の最期に立ち会う、というような経験はありません。

受刑者の前で話をする「集団教誨」は年に3回担当しています。他の刑務所に比べると少ないほうだと思います。教室

のようなところで50人くらいの受刑者を前に50分ほど講話をするのですが、なぜか私の場合、復活祭・お盆・クリスマスに近いことが多く、イエスの受難と復活、死後の世界について、イエスの誕生の意味などをお話しています。受刑者の方々は宗教の話を求めて集まられるので、教会での講話よりも宗教色の濃い話になります。そのほかに、年1回「宗教座談会」の担当が回ってきます。これは質疑応答が中心で、3〜4人の参加があります。以前、旧約聖書の細かい内容について質問され、すぐには答えられず、次の集団教誨で触れたこともありました。そのほかに受刑者の希望で個人教誨を行うこともあります。

教誨師として有意義なことは他宗教の方々と交われることです。三重刑務所には仏教・プロテスタントのほかに神道の教誨師さんもいらっしゃいますし、天理教・金光教の方もおられます。天理教の一人は全盲で、函館のトラピスチヌ修道院とも親しくされているそうです。少年刑務所に呼ばれたとき、暴走族の少年たちに「君たちは目が見えるから運転できて幸せだ」という話をなさったら、彼らは「ごめんなさい」と号泣したそうです。

教誨の仕事は今後さらに重要になってくると思います。従来、刑務所は罰を受けるところと捉えられていましたが、社会への更生を準備する施設でもあるという考え方が広がっています。そのために、宗教者が果たす役割は決して小さくないでしょう。「もう罪を犯してはならない」と言って罪人を赦されたイエスの思いをもって受刑者の方々のひとときに寄り添いたいと思います。

お知らせ

ブルーノ・ロハス神父
司祭叙階25年銀祝感謝ミサ
2015年6月21日⑧ 14:00
カトリック上野教会
ポルトガル語ミサ
パウロ大塚喜直司教 司式

ブルーノ神父様のために
お祈りください

Pe. Bruno Rojas Moore
Bodas de Prata Sacerdotal
Missa de Ação de Graças
Data e Hora: 21 de Junho de
2015, às 14:00hs
Lugar: Igreja Católica de Ueno
Missa em Português
Presidida pelo
Bispo Paulo Otsuka Yoshinao
Oremos pelo Pe. Bruno

6月のお知らせ

教 区

福音宣教企画室 / Tel.075(229)6800

病者・高齢者訪問講座

第2回「聖書における病氣・病者とは」

日 時：4日⑥ 13:30

講 師：一場 修師(マリスト会)

会 場：カトリック会館6階

受講費：300円

日本教会史講座「日本の教会を支えた女性たち」

第1回「激動の時代、戦国を生きた女たち」

日 時：18日⑥ 14:00

講 師：阿部 仲麻呂師(サレジオ会)

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

受講費：300円

聖書委員会 / Tel.075(211)3484 ①③④

聖書講座「聖霊に導かれて」

日 時：10日⑥ 19:00 11日⑥ 10:30

テーマ：初代教会の共同生活

講 師：大塚 喜直司教

日 時：17日⑥ 19:00 18日⑥ 10:30

テーマ：ステファノとフィリポ

講 師：奥村 豊師

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

よく分かる聖書の学び(ヨハネ福音書を読む)

日 時：24日⑥ 10:30

講 師：北村 善朗師 / 参加費：300円

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

ブロック

奈良ブロック協議会

聖書講座—詩編を歌って 神を讃えよう—

日時会場：12日⑥ 19:00 大和郡山教会

13日④ 10:00 奈良教会

テーマ：主は私の牧者(23)、私の岩(62)

講 師：クエンジ・ダニエル師(淳心会)

日時会場：26日⑥ 19:00 大和八木教会

27日④ 10:00 奈良教会

テーマ：私はあなたに罪を犯しました

救いを求める

講 師：ザビエル・スサイ師(神言修道会)

修 道 会

聖ドミニコ女子修道会(京都修道院)

Tel.075(231)2017 Fax.(222)2573

ロザリオを共に祈る集い

日 時：19日⑥ 10:30~12:00

男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

聖書深読(渡辺 幹夫師)

日 時：13日④ 10:00~16:00

参加費：2,500円

水曜黙想(中川 博道師)

日 時：17日⑥ 10:00~16:00

テーマ：教会の中に生きる聖テレジア

参加費：3,000円

社会人のための霊的同伴(松田 浩一師)

日 時：19日⑥ 20:00~20日④ 15:00

参加費：6,500円

諸 団 体

望洋庵 Tel.075(366)8337

青年のための聖書入門講座

日 時：4日⑥ 19:00「貧しい人に福音を」

18日⑥ 19:00「罪とは何か」

講 師：溝部 脩司教

対 象：青年男女(初めての方、歓迎)

参加費：300円(食事代含)

会 場：望洋庵(西陣教会内) / 申込不要

京都カトリック混声合唱団

練 習：7日⑥ 14:00 / 27日④ 18:00 ミサ奉仕後
カトリック会館6階

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：11日⑥ 10:00 カトリック会館6階

25日⑥ 10:00 河原町教会 ヴィリオンホール

聴覚障がい者の会

手話表現学習会

日 時：16日⑥ 13:00

場 所：カトリック会館6階

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星.CATV)スカイAスポーツプラス

毎週土曜日 朝7:45

シリーズ「人生を導く聖書の言葉」

出演は松浦 謙師(大阪教区)

ラジオ(KBS京都) ①~⑤ 朝5:55

④ 朝5:15

6月のテーマ「天の国の鑑(かがみ)」

お知らせ

4月1日付で、カトリック綾部教会およびカトリック報恩寺教会は、カトリック福知山教会に1つの小教区として統合されました。

報恩寺教会の聖堂は「カトリック福知山教会・聖マリア報恩寺聖堂」となり、綾部教会は「カトリック綾部祈りの家」となります。

京都教区サポートセンター

Tel.075(211)3025 Fax.(211)3041

cksc@kyoto.catholic.jp

ボランティア募集中

詳細は京都教区ホームページをクリック

京都教区

検索

※ 8月号の原稿締切日は6月24日⑥です。

大塚司教の

6月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 3日(水) 15:00 中央協 財務委員会
 4日(木) 10:00 中央協 常任司教委員会
 15:30 日本カトリック神学院
 常任司教委員会
 7日(日) 11:00 奈良ブロック合同堅信式
 (奈良)
 9日(火) 13:30 教区カトリック学校 校長会
 10日(水) 19:00 教区聖書講座
 11日(木) 10:30 教区聖書講座
 13日(土) 13:00 ミカエル 松浦悟郎司教
 名古屋教区着座式

- 14日(日) 13:30 社会司教委員会シンポジウム
 (鹿児島・ザビエル教会)
 15日(月)~19日(金) 2015年度 定例司教総会
 (中央協)
 21日(日) 9:00 三重南部ブロック司教訪問
 (津)
 14:00 ブルーノ・ロハス師 司祭叙階 銀祝
 感謝ミサ(上野)
 22日(月) 14:00 司教顧問会
 23日(火) 14:00 教区幼稚園連盟 園長会
 24日(水) 18:00 高山右近シンポジウム
 (大阪梅田教会)
 25日(木) 10:30 司祭・司牧者全体集会(河原町)
 28日(日) 10:00 宮津ブロック司教訪問(加悦)

ヨゼフ・マリア 村上眞理雄神父

司祭叙階60周年



司祭団による感謝ミサ
 カトリック河原町教会 都の聖母小聖堂



1929年4月13日 京都市で生まれる
 1955年3月21日 古屋義之司教により
 カトリック河原町教会で司祭叙階
 2015年3月21日 司祭叙階60周年



「教皇祝福」贈呈

